

平成29年度

認定看護管理者教育課程 セカンドレベル

受講者募集要項

▼教育理念▼

Saluti et Solatio Aegrorum (病める人々を医やすばかりでなく慰めるために) の教育理念に基づき、保健医療福祉分野における質の高い医療サービスを提供するため、豊かな人間性、倫理観と最良の適応力と創造性を兼ね備えた看護管理者を育成し、日本の地域医療の質向上に貢献する。



学校法人藍野学院
キャリア開発・研究センター

公益社団法人日本看護協会
平成29年7月 認定看護管理者教育機関(セカンドレベル)認定

平成29年度 認定看護管理者教育課程セカンドレベル 受講者募集要項

【教育目的】

(1) 第一線監督者または中間管理者に求められる基本的責務を遂行するために必要な知識・技術・態度を習得する。

(2) 施設の理念ならびに看護部門の理念との整合性をはかりながら担当部署の看護目標を設定し、その達成をめざして看護管理過程が展開できる能力を高める。

【カリキュラム】

教科目名 及び時間数	内 容
看護組織 管理論 (45 時間)	1) 組織マネジメントの基本理論 組織構造と機能／組織化の方法（職務設計と職務規程） 2) 組織の意思決定と変革 変革理論／組織の意思決定 3) 組織文化 組織文化とは／組織文化のマネジメント 4) 組織分析（組織診断） 所属組織の分析法／所属組織の評価方法／組織の経営戦略 5) 看護ケア提供方式の構築 効果的な看護ケア提供方式の構築と活用 6) 看護組織のナレッジマネジメント ナレッジマネジメント 7) コンフリクトマネジメント コンフリクトマネジメント／交渉術
人的資源 活用論 (45 時間)	1) 人材を育てる看護マネジメント キャリア開発支援／人的資源計画の基本的考え方（採用から、異動、退職までの人的資源のフロー計画）／人材育成計画（人材育成プログラムの作り方、新人看護職員研修の企画・運営、専門性の高い看護師の育成、クリニカルラダーの基本的概念と活用、ジェネラリストの育成、院内研修制度） 2) 看護人事・労務管理 人員配置／能力評価／目標による管理／勤務計画／タイムマネジメント／WLBと勤務形態の管理／看護管理の実務／看護職の健康管理（シフトワークと健康被害、感情労働、労働災害）／ストレスマネジメント／労働関係法規の理解 3) 人材を活かす看護マネジメント 人的資源の活用のためのマネジメント／スペシャリスト（認定看護師、専門看護師、特定行為研修修了者等）の活用／認定看護管理者の活用／外部資源の活用／動機づけ理論の活用（フィードバック、面接技法、インセンティブシステム）
ヘルスケア サービス 管理論 (45 時間)	1) 保健・医療・福祉サービス提供組織の仕組みと連携 保健医療福祉サービス提供組織を規定する法律／専門職チームによるヘルスケアシステムと課題／スキルミクス／看護業務管理／ヘルスケアサービスの連携（訪問看護事業所、介護事業所等を含む）／地域医療構想と医療計画／地域連携における看護職の役割 2) 施設環境のマネジメント 病院及び訪問看護事業所、介護事業所等の保健医療福祉施設における施設環境のあり方（療養環境・作業環境・衛生環境）／施設環境の安全性 3) 安全管理 看護単位における安全管理／労務災害とその予防／災害の備え／事故発生のアセスメント、分析、

	対処／安全管理教育／法令遵守 4) クオリティマネジメント クオリティマネジメント／看護サービスの質保証と改善／アウトカムマネジメントの考え方／質管理のための研究の活用／看護管理に関する研究の動向 5) ヘルスケアサービスへの情報活用とマネジメント 看護管理に資する情報システムの構築／人的資源管理と情報活用
医療経済論 (30時間)	1) 我が国における社会保障と医療経済 保健医療政策の現状と動向／社会保障・保険制度と医療経済／生産性、分配／個人の医療サービス消費プロセス／医業収支と医事／病院経営指標 2) 看護サービスにおける経済性 看護サービスの経済性（効率性・公平性）／人事管理と経済性／物品管理と経済性／情報管理と経済性／時間管理と経済性／効果的・効率的な資源の活用／看護活動の経済的評価
統合演習 (15時間)	統合演習 自部署について、分析に基づいた実践可能な改善計画を立案する。

【募集内容】

1. 平成29年度 開講期間および募集定員・出願期間等

開講期間	平成29年11月24日(金)～平成30年2月24日(土) ※平成30年2月26日(月)～28日(水)を予備日とする。
講義形態	分散型 週3日制 (木曜日・金曜日・土曜日) ※祝日を除く ※講師の都合等により、期間内の他曜日の開講もあり得る。
講義時間	(午前) 9:45～12:45 (午後) 13:45～16:45 ※昼休憩 12:45～13:45
講義場所	学校法人藍野学院 AINOPIA 2階 講義室
募集定員	30名
出願期間	平成29年8月14日(月)～平成29年9月13日(水) (必着)

2. 受講資格

次の①～③全ての要件を満たす者(項目③は③-1又は③-2いずれか)

- ① 日本国の看護師免許を有する者
- ② 看護師免許を取得後、実務経験が通算5年以上ある者(※)
- ③-1 認定看護管理者教育課程ファーストレベルを修了している者
- ③-2 看護部長相当の職位にある者又は副看護部長相当の職位に1年以上就いている者

※ 准看護師として勤務した期間は、実務経験の通算年数には含まない。

※ 産休・育児休暇等の休職期間は、実務経験の通算年数には含まない。

3. 受講料

受講料：税込 210,000円 【修了判定料及び証書料含む】

※ 教科書、参考書等の教材費は自己負担となります。

※ いかなる理由があっても一旦納入された受講料は返還いたしません。

4. 出願書類

出願には、以下の書類が必要となります。なお、指定様式(様式1)(様式2)(様式3)については、「学校法人藍野学院 キャリア開発・研究センター」のホームページ(<http://cdr.aino.ac.jp>)よりダウンロードし、必要事項を記入してください。(手書きまたはパソコンで作成して下さい)

1) 受講申込書 (様式 1)

※ 記入にあたってはP.5<受講申込書 (様式 1) の記載について>を参照すること。

2) 認定看護管理者教育課程ファーストレベル修了証書の写し<受講資格③-1該当者のみ>

3) 勤務証明書 (様式 2) <受講資格③-2該当者のみ>

※ 受講資格②及び③-2を満たしていることが証明できるよう作成すること。

※ 複数の勤務先での経験を合算することで要件を満たす場合は、それぞれの勤務先ごとに証明書を作成すること。

4) 小論文 (様式 3)

課題: 「看護部理念を達成するための自部署(部門)の課題と、あなたが考える対策を具体的に述べよ」

形式: 1200字以内

5) 看護師免許証の写し

※ A4サイズに縮小し、裏面に記載がある場合は両面コピーすること。

6) 返信用封筒 (角形 2 号) (受講者選考結果通知書の送付用)

受講申込者個人の郵便番号・住所・氏名を明記し、【簡易書留郵便】430円分の切手を貼付。

5. 出願方法

上記の出願書類一式を、角形 2 号封筒に入れ、下記宛に【簡易書留郵便】で郵送してください。(出願期間内必着)

送付先

〒567-0011 大阪府茨木市高田町 1-2 2

学校法人藍野学院 キャリア開発・研究センター

認定看護管理者教育課程 事務係

※ 朱書きで「平成 29 年度セカンドレベル受講申込書類在中」と明記すること。

※ 出願書類に不備がある場合は、受付できませんのでご注意ください。

※ いかなる理由があっても一旦受理した出願書類は返却いたしません。

6. 受講者選考方法

「認定看護管理者教育課程教育運営委員会」にて、提出書類審査および小論文の内容を総合して選考を行い、受講者の決定をいたします。

※ 選考基準、小論文の評価基準についてはP.6を参照ください。

7. 選考結果通知

受講者選考の合否結果については、10月上旬頃に受講申込者個人宛に文書で通知いたします。

※ 合格者には、受講手続きのご案内も合わせて送付いたします。

8. 受講手続き (受講料振込み) について

合格者は、受講手続きのご案内に沿って受講料を振込んでください。

平成 29 年 10 月 19 日 (木) ※午後 3 時までに納入

※ 受講料の振込先と振込日の詳細は、選考結果通知書 (合格通知書)に記載いたします。

※ いかなる理由があっても一旦納入された受講料は返還いたしません。

9. 受講許可通知

受講手続き完了者に、受講許可書を10月下旬頃に受講申込者個人宛に文書で通知いたします。

※ 時間割、受講の手引き等の必要書類も併せて送付いたします。

【教育課程修了要件】

1. 教科目および時間数

教科目	実施予定時間数
看護組織管理論	45
人的資源活用論	45
ヘルスケアサービス管理論	45
医療経済論	30
統合演習	15
合 計	180

2. 修了要件

教育課程を修了するには、カリキュラムで定められている全ての教科目において合格することが必要です。

合格基準は、教科目ごとに実施される筆記又は課題レポートによる試験において、C以上の評価を得ていることとします。

【成績評価】 A(100～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下)の4段階で評価

※試験で不合格(D)となった者は、1教科目につき1回に限り再試験を受けることができます。ただし、その教科目における成績評価の上限は60点とします。

※出席時間が教科目規定の4/5に満たない場合、試験(再試験含む)を受けることは出来ません。

※課題レポートの評価基準は、P.6をご参照下さい。

3. 修了判定について

修了判定は、受講者の全教科目成績確定後、「認定看護管理者教育課程教育運営委員会」が行います。修了要件である、カリキュラムに規定された全ての教科目においての合格を満たしているかを確認します。

4. 修了証書の交付

本教育課程の修了者には、学校法人藍野学院 キャリア開発・研究センター長より修了証書を交付いたします。

【その他】

1. 個人情報の取扱いについて

受講申込書に記載された個人情報については、教育課程の実施運営に関わる業務を目的として使用し、それ以外の目的では使用いたしません。

2. 通学について

乗用車、オートバイでの通学は禁止です。本学スクールバスをご利用ください。

3. 公開講座について

一部教科目の講義を、公開講座として一般の参加者を受け入れる予定です。予めご了承ください。公開講座のスケジュールについては、キャリア開発・研究センターホームページまたはシラバス(受講決定者に送付します)をご覧ください。

<受講申込書（様式1）の記載について>

1. 氏名

・「受講者証」や「修了証書」作成時に必要となりますので、手書きで作成する場合は楷書で正確に記入してください。

2. 生年月日・年齢

・生年月日は西暦で記入してください。

3. 顔写真

・写真は上半身脱帽正面向き、縦4cm×横3cm（背景なし）で最近3ヵ月以内に撮影したもの。
（スナップ写真は不可）
・写真の裏に氏名を記入して、のり付けしてください。

4. 自宅住所

・数字は分かりやすく、明確に記入してください。
・受講許可書等の送付先になりますので、間違いのないように記入してください。

5. 勤務先名・職位

・受講申込書作成時の勤務先名・住所ならびに職位を記入してください。

6. 所有資格・実務経験年数

・所有資格に○を付け、保健師・助産師・看護師としての実務経験年数を記入してください。
※産休・育児休業等の休職期間は実務経験に含みません。除いた実務経験年数を記入のこと。
（休職期間の詳細については、勤務証明書（様式2）で記入していただきます。）
※准看護師として勤務した期間は実務経験には含みません。

7. ファーストレベル修了

・該当する項目に○を付けてください。

8. 応募動機

・該当する項目に○を付けてください。複数選択可能です。

9. その他

・※欄は記入しないでください。
・書類記載の不備は無効とします。
・手書きで作成する場合は黒のボールペンを使用し（フリクション等は不可）、パソコンで作成する場合は白黒印刷でプリントアウトして下さい。
・記載についての不明点は、下記までお問い合わせください。

■ 〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-2-2
学校法人藍野学院 キャリア開発・研究センター
認定看護管理者教育課程 事務係
TEL : 072-627-7878 FAX : 072-627-7997
E-mail : cdr@kanri-u.aino.ac.jp

＜受講者選考基準＞

受講者の選考基準については次のとおりとする。

- (1) 受講資格を満たしていること。
- (2) 申込書類が完全であること。
- (3) 小論文の評価がC以上であること。

【小論文評価】 A(100～80点)・B(79～70点)・C(69～60点)・D(59点以下) の4段階で評価

- (4) 応募者が定員を超えた場合
 - ・小論文の評価で優先順位を決定する。

＜小論文・課題レポート評価基準＞

※100点満点で評価する。

項目	評価の視点	配点
課題の理解	課題を正しく理解している	20
	主題が課題に対応している	
思考力	主題からはずれていない	50
	現場での問題に関連づけて問題意識を持って批判的に考えられている	
	理論や概念を用いて事実を分析している	
	自らの主張が述べられている	
論述能力	自己の課題が述べられている	30
	論点が明確である	
	論旨が一貫している	
	文章が論理的に構成されている	
	主語と述語が適切である	
	適切な言葉・表現を用いている	
誤字・脱字など表記に誤りがない		
	引用・参考文献の取扱いが適切である	



■お問い合わせ先

〒567-0011 大阪府茨木市高田町1-22

学校法人藍野学院 キャリア開発・研究センター
認定看護管理者教育課程 事務係

TEL : 072-627-7878 FAX : 072-627-7997

URL : <http://cdr.aino.ac.jp>

E-mail : cdr@kanri-u.aino.ac.jp